



TVアニメ『葬送のフリーレン』オープニングテーマ

勇者

YOASOBI

作詞・作曲：Ayase ピアノアレンジ：川田千春



ソニー・ミュージック
クエンタテイン
メント
XSCL-75~76
YOASOBI 3rd EP
『THE BOOK 3』

放送前から話題となり、現在好評放送中のTVアニメ『葬送のフリーレン』。そのオープニングテーマであるこの楽曲は、疾走感あふれるリズムとストーリーの世界観を感じさせるメロディが魅力です。2023年もヒット曲を連発するYOASOBI、新曲「勇者」を収録した3rd EP『THE BOOK 3』も発売され、今後も目が離せません！

原曲は大変テンポが速いので、まずはゆっくり丁寧に譜読み、指慣らしをしていきましょう。展開が多く、さまざまなテーマが次々と出てきます。リハーサルマークを目安として、流れを細切れにしなから頭に入れていくとよいでしょう。[A]のように休符の多い箇所では、できるだけペダルの使用は最小限にして、原曲の歯切れよさをピアノでも表現できるとよいでしょう。

(Original Key : Gm)

♩=210

[A] Gm F Em⁵ Am7 Fm F

mp まるでおとぎのはなし ぎるた

Em⁵ Am7

ーびじから きり かつてこのちに

Em⁵ Am7 Em⁵ Am7

かげを お しゅーしゃーと のみじかいた

Gm7

mf

び



映画『ミステリと言う勿れ』主題歌

硝子窓

King Gnu

作詞・作曲：常田大希 ピアノアレンジ：渋谷絵梨香

田村由美の大人気漫画を原作とした映画『ミステリと言う勿れ』の主題歌。2022年1月から放送されたテレビシリーズに続き、King Gnuの新曲が主題歌となっています。謎めいたイントロから始まるこの楽曲は、映画のストーリー同様ミステリアスなもの。この秋演奏するのにも、おすすめのナンバーとなっています。

16分音符はハネて演奏しますが、ハネすぎに注意してください。事前に原曲を聴いてから譜読みを始めると雰囲気がかめるでしょう。全体的にペダルを使って響かせますが、イントロのデモートのフレーズや短小節目左手などはアーティキュレーションを活かしてください。左手はあえてところどころルート音を省略しています。独特の浮遊感を感じながら演奏してみてください。

(Original Key : Cm)

♩=96 (♩=♩³)

Cm7 No Bounce Fm7 Em7 D[#]dim Dm⁵

p

D^bM7 Csus4

ssa

mf Gm7^{onC}

[A] Fm⁷ A^bM7 G7

ーひきーよせー しあわせのーむこうーがわまーでつーれて
ーとばーしてー かなしみのーむこうーがわまーでつーれて



TBS系 日曜劇場『VIVANT』より

VIVANT <Main theme>

千住明

作曲：千住明 ピアノアレンジ：高野令子

ベールに包まれたスタートから高い人気を博したTBS系 日曜劇場『VIVANT』、そのサウンドトラックに収録されているこのメインテーマは、壮大なスケールとスリリングな展開のドラマには欠かせない楽曲。千住明が作曲したこのインストゥルメンタル、ドラマのシーンを思い浮かべながらピアノを響かせてください。

イントロは両手の響きに重々しい雰囲気を感じながら演奏してください。[A]、[B]などの躍動感あふれるメインフレーズでは、裏メロディを両手で受け渡して演奏する箇所が登場します。どの音からフレーズがつながっているのか意識しながら、なめらかに演奏しましょう。[C]、[D]、[E]~[H]はメインフレーズとの曲想の対比を意識して平穏が訪れるような雰囲気を大切に感じて弾くとよりメリハリがかった演奏に仕上がります。

(Original Key : Am)

♩=74 E7

[A] ♩=146 Am G6 F#m7-5

r.m7-5 FM7 E7 Am G6 F#m7-5



編集部 オススメ! 話題曲

劇場用長編アニメーション『ストリートファイターII』主題歌

恋しさとせつなさと心強さと 篠原涼子 with t.komuro

作詞・作曲：小室哲哉 ピアノアレンジ：川田千春

1994年にリリースされ一世を風靡した大ヒットソングです。昨年末の第73回NHK紅白歌合戦に28年ぶりに出場し、変わらぬ歌声を披露した篠原涼子。ゲーム『ストリートファイター6』の日本版イメージソングとして今年リアレンジされました。一度聴いたら頭から離れない「恋しさとせつなさと~」のサビをたっぷりご堪能ください。

16分音符を含むシンコペーションのリズムがこの曲の軸となっています。楽譜を追うより原曲を聴いてリズムの感じをつかむ方が、譜読みはスムーズに進むと思います。[B]の左手のように4分音符を刻むパターンでは、強いビートを意識して前へと進んでいくような意識を持ちながら演奏するとよいでしょう。[E]1小節前は右手のポジション移動が大きいですが、慌てないように。

(Original Key : Em)

♩=130 [A] Em Em#D

G F#m7 C C#B

Am7 Em#D





Daydream Believer

The Monkees

作曲: John Stewart ピアノアレンジ: 川田千春

今月号からの新コーナー「オシャレな響きで楽しむ洋楽コレクション」では、洋楽の名曲を演奏しやすいようにアレンジ。素敵な響きを楽しんでいただくコーナーです。初回は、日本でもコンビニエンスストアのCMとしておなじみの1曲。発売は1967年と今から50年以上前ですが、今聴いても色褪せることのないオシャレなナンバーです。

4分打ちを強く意識せず、ペダルを用いて響きを楽しみながら演奏できるようなアレンジにまとめました。細かなペダルの指示がありますが、できるだけ守りながら弾き進めてみてください。テンポは原曲より少し遅く示していますが、各々好きな速さで弾いてみてください。■は一番のクライマックス・ポイントです。臨時記号を見落とさないよう。譜読みは丁寧にしてください。

(Original Key: G)

♩=112 (♩=♩³)

G 8va D7sus4 G D7sus4

mp

Red. Red. *

A G D7sus4^{on}G G7

Red. * Red. Red.

Em7 A7 Am7

mf

Red. Red. * Red. *

Br ^{on}D Em7 Am7 D7 G

r.h. mp

Red. Red. . Red. Red. Red. Red. *



TVアニメ『こちら葛飾区亀有公園前派出所』オープニングテーマ

葛飾ラブソディ

堂島孝平

作曲: 堂島孝平 ピアノアレンジ: ずっしー

TVアニメ『こちら葛飾区亀有公園前派出所』の3代目オープニングテーマ。歌詞には舞台となった葛飾区の地名や名称が出てくる、下町情緒あふれるご当地ソングです。ノスタルジックな雰囲気を感じさせてくれる楽曲ですが、今でもTVCMソングとして使われるなど、高い人気を誇っています。



今回は「葛飾ラブソディ」を、ブルースのテクニックを用いた小粋なアレンジで弾いてみましょう。曲にブルースっぽさを入れ込むときに一番重要なのが「ブルーノートスケール」をうまく使うことです。現代のポップス曲でもこれを要所に取り入れてて陽気なアレンジに仕上げているものも多くあります。またこれ以外にもブルースで使われる独特な伴奏法も効果的です。ぜひ演奏しながら、どんな音使いがブルース感をもたらしているのか感じてみてください。

by ずっしー

YouTubeで参考音源が聴けます ▶



♩=120 (♩=♩³)

A C E7^{on}B Am

mf

C C^{on}G C7

F B F

3

「ブルーノートスケール」を使った小粋なフレーズを挟む



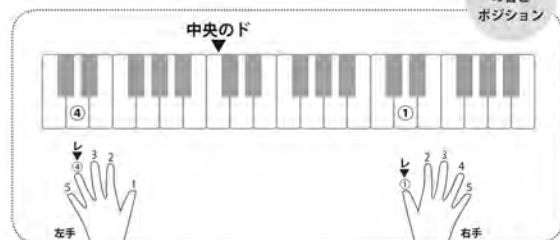


愛のうた～種のうた

ストロベリー・フラワー

作詞：ストロベリー・フラワー～友妻タケシ 作曲：ストロベリー・フラワー～中山晋平 ピアノアレンジ：すぎやまみゆき

大人気ゲームソフト『ピクミン』シリーズのCMでもおなじみの楽曲を、メドレーでお届けします。「愛のうた」は一度聴くと耳から離れないメロディでどこか哀愁が漂い、「種のうた」は童謡「こがね虫」が原曲で、ゲームの世界観を表現した歌詞が魅力。子どもたちはもちろん、多くの方に演奏してほしいナンバーです。



(Original Key : D)

[愛のうた] 4拍目のウラから始まります。1と、2と、3と、4と……と、ウラ拍がわかるようにカウントしましょう

♩=77

D A D

この2つは同じ音なので、なるべく手の位置は動かさず、指を開いてベース音を弾きましょう

に要注意。

G A D

Bm F#

2曲とも二長調です。1曲目はリズムの細かいメロディですが、テンポは遅いのでカウントをとりながら落ちついて弾いてください。2曲目は、スタッカートで付く音と付かない音に気をつけて楽譜を読みましょう。2曲目へ入るときはサッと気持ちも切り替えて、明るく元気にスタートしてください。



異邦人

久保田早紀

作曲：久保田早紀 ピアノアレンジ：事務員G

オリエンタルムードあふれる特徴的なイントロから始まる、1979年発売の久保田早紀のミリオンセラー。発売当時の音楽シーンには異国ムードの曲も多く、「異邦人」もその流れに乗りました。印象的な旋律と歌声は、今でも多くのファンに愛されています。

イントロの印象的なフレーズは左手から右手への受け渡しをスムーズに、その後は2つのラインから構成されるメロディが少し複雑ですが、どちらの流れも感じられるように演奏してください。リズムカルに演奏すべき箇所と、□のようにゆったりとした流れを感じる箇所との弾き分けを意識するようにするとメリハリがつかうでしょう。

(Original Key : Fm)

♩=105

Em

G A D

Bm F#

©1979 by Sony Music Artists Inc.

